

服部 嵐雪(はっとり らんせつ)

資 料

短冊『いまのしまたの よし寸けのことも 見通し難くて
鍛冶の火の 殊更に秋 笠の霜 嵐雪』

作 者

1654(承応3)－1707(宝永4). 10. 13

江戸(東京都)湯島生まれ。

松尾芭蕉に俳諧を学ぶ。武士をやめて宗匠として俳諧に専念する。芭蕉没後の蕉門で榎本其角と人気を二分し、その系統は雪門と呼ばれる。蕉門十哲の一人。

参考文献

『嵐雪全集』(雪中菴雀志／校訂 博文館(俳諧文庫 第7編) 1898 [県立 911. 308/4/7(11946712)])

『嵐雪句集(上)』(服部嵐雪／著 萬笈堂英氏
[県立 911. 33/11(11949807)])

『芭蕉・嵐雪・蕪村論考』(福本良二／著 和泉書院(和泉選書 63) 1992. 2

[県立 911. 32AA/215(20484606)])

